

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 ラウンドワン  
 コード番号 4680 URL <http://round1.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東大

(氏名) 杉野 公彦

(氏名) 西村 孝之

TEL 072-224-5115

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	38,738	—	7,469	—	5,814	—	2,375	—
20年3月期第2四半期	38,393	24.2	9,483	7.4	8,478	5.7	4,928	1.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	3,764.63	—
20年3月期第2四半期	7,811.54	7,811.46

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	176,427	71,441	40.5	113,217.22
20年3月期	176,384	69,694	39.5	110,452.57

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 71,424百万円 20年3月期 69,684百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
21年3月期	—	1,000.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	2.6	14,570	△20.3	12,000	△24.9	5,900	△35.5	9,352.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 632,413株 20年3月期 632,413株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,546株 20年3月期 1,514株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 630,883株 20年3月期第2四半期 630,928株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の予想は現時点で入手可能な情報により算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融システムの混乱により株式市場や資本市場への不安が拡大する中、原燃料価格の上昇が生活必需品等へ価格転換された結果、企業収益の落ち込みや、個人消費の冷え込みにより、経済の減速感が強まりました。

ボウリング・アミューズメント・カラオケ業界におきましても、消費者心理の悪化等により個人消費は弱含みで推移し、業界全体では郊外店舗を中心に大きく集客数の減少に影響を及ぼしました。

このような経済状況の中、当社におきましては、積極的に新規大型アミューズメント機器を導入するとともに、テレビコマーシャル等を活用して、お客様に楽しんでいただけるような企画やイベント等を打ち出し、業績の向上に努めました。また、平成20年4月26日に『姫路飾磨店』(兵庫県姫路市)を、平成20年8月9日には、『草加店』(埼玉県草加市)をそれぞれ新規出店いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間の全社売上高と既存店売上の前年比は、以下のようになっております。

## I. 平成21年3月期(平成20年4月～平成20年9月)全社売上高の状況

(百万円単位：単位未満は切捨表示)

	全社計画 (平成20年5月9日発表計画額)	全社実績	差額
ボウリング収入	14,700	13,558	△1,141
アミューズメント収入	17,600	16,397	△1,202
カラオケ収入	2,900	2,813	△86
スポーツ収入	4,700	4,813	+113
その他収入	1,100	1,155	+55
総売上	41,000	38,738	△2,261

	全社計画比 (平成20年5月9日発表計画と比較)	全社前年比	既存店前年比
ボウリング収入	△7.8%	△1.3%	△9.5%
アミューズメント収入	△6.8%	△0.4%	△10.1%
カラオケ収入	△3.0%	+6.9%	△5.6%
スポーツ収入	+2.4%	+3.3%	△13.9%
その他収入	+5.1%	+27.8%	+10.8%
総売上	△5.5%	+0.9%	△9.6%

## II. 平成21年3月期(平成20年4月～平成20年9月)既存店売上高の前年比推移

	4月	5月	6月	第1四半期
ボウリング収入	△7.6%	△3.3%	△9.5%	△6.7%
アミューズメント収入	△10.4%	△9.3%	△12.2%	△10.5%
カラオケ収入	△6.3%	+2.1%	△6.9%	△3.5%
スポーツ収入	△29.1%	△11.7%	△13.2%	△18.0%
その他収入	+12.1%	+23.2%	+6.9%	+14.2%
総売上	△11.0%	△6.1%	△10.5%	△9.0%
既存店数(全店数)	72店(84店)	73店(84店)	73店(84店)	※

	7月	8月	9月	第2四半期	第2四半期 累計期間
ホウリング収入	△16.4%	△7.0%	△14.1%	△12.1%	△9.5%
アミューズメント収入	△12.0%	△5.0%	△12.9%	△9.7%	△10.1%
カラオケ収入	△10.5%	+1.6%	△14.5%	△7.5%	△5.6%
スナック収入	△24.5%	+7.6%	△19.0%	△10.0%	△13.9%
その他収入	+4.4%	+11.6%	+7.5%	+8.0%	+10.8%
総売上	△14.4%	△3.2%	△13.7%	△10.0%	△9.6%
既存店数(全店数)	72店(82店)	72店(83店)	74店(83店)	※	※

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高387億3千8百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は74億6千9百万円(前年同期比21.2%減)、経常利益は58億1千4百万円(前年同期比31.4%減)、当第2四半期純利益は23億7千5百万円(前年同期比51.8%減)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,764億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千2百万円増加しました。これは主に現金及び預金、建物及び構築物、土地の増加と繰延資産の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,049億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少しました。これは主に短期借入金の増加と長期借入金、未払法人税等の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、714億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4千7百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当面は現在の厳しい状況が続くものと思われまます。当第2四半期連結累計期間の実績や直近の業績を考慮し、通期の業績を以下のように修正させていただきます

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	19,000	16,700	9,600	15,216 37
今回修正予想(B)	80,000	14,570	12,000	5,900	9,352 21
増減額(B)-(A)	△5,000	△4,430	△4,700	△3,700	—
増減率(%)	△5.9	△23.3	△28.1	△38.5	—
前期実績	77,993	18,287	15,986	9,152	14,507 10

なお、売上高につきましては以下の前提をもとに算出しております。

【平成20年10月～平成21年3月】の**【全社売上計画】**

(単位：百万円)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期計
ホウリング収入	2,029	1,958	2,273	3,124	2,386	3,142	28,474
アミューズメント収入	2,440	2,633	2,995	3,639	2,635	3,023	33,766
カラオケ収入	399	435	561	634	452	571	5,868
スナック収入	600	649	742	1,007	679	961	9,454
その他収入	182	194	223	231	214	236	2,438
総売上	5,653	5,871	6,795	8,637	6,368	7,935	80,000

## 【平成20年10月～平成21年3月】の既存店売上前年比計画】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期計
ホウリング収入	△7.6%	△4.2%	△10.0%	+0.0%	+0.1%	+0.5%	△6.3%
アミューズメント収入	△10.6%	△1.9%	△7.1%	△2.6%	△5.7%	△1.7%	△7.6%
カラオケ収入	△7.9%	+4.3%	△4.3%	△1.0%	△1.9%	△0.5%	△3.7%
スナック収入	△8.7%	+4.2%	△2.9%	△12.7%	△4.1%	△2.3%	△9.6%
その他収入	+11.7%	+28.2%	+26.5%	+7.6%	+12.4%	+9.1%	+13.1%
総売上	△8.6%	△0.8%	△6.6%	△2.7%	△2.6%	△0.5%	△6.6%
既存店数	74店	75店	75店	79店	79店	79店	※

(注) 10月計画は実績数値と同額としております。なお、詳細につきましては、本日発表しております「2009年3月期 第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 連結及び持分法の適用範囲の異動

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①（会計基準等の改正に伴う変更）

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、四半期連結財務諸表の作成については、「四半期連結財務諸表規則」を適用しております。

## ②（開業費の会計処理）

当社の連結子会社である特別目的会社等では、従来、開業費については、定額法により5年間で均等償却を行なっておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、支出時に費用処理する方法に変更しております。

この変更は、当第2四半期連結会計期間以降に特別目的会社等の子会社を利用した、現在開発中の新規出店が増加する予定であることに加え、近年店舗建物の建築確認申請手続の延長等に伴い、開発期間が長期化する傾向にあることから、開業費の金額的重要性が増したことを鑑み、支出時の費用として処理することにより、財政状態の健全化を図るものです。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ41百万円、税金等調整前四半期純利益は550百万円減少しております。

また、上記変更を当第2四半期連結会計期間に行なったのは、当第2四半期連結会計期間において、今後、現在開発中の案件で、特別目的会社等の子会社を利用した新規出店が増加することが具体的に決まったこと、及び店舗建物の開発期間の長期化傾向により、開業費の金額的重要性が高まることが合理的に予測出来る状況となったことによるものであり、第1四半期連結累計期間は従来の方によっております。

従って、第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益及び経常利益はそれぞれ87百万円、税金等調整前四半期純利益は595百万円増加しております。

なお、今後の特定目的会社等の子会社での会計処理に関しては、原則として開業に係る費用を支出時に費用として処理する方法を採用いたします。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,793	10,808
現金及び預金(責任財産限定対象)	12,148	12,116
売掛金	187	330
商品	172	131
貯蔵品	791	725
その他	3,323	4,247
その他(責任財産限定対象)	968	1,136
流動資産合計	30,385	29,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,041	37,971
減価償却累計額	△9,690	△9,073
建物及び構築物(純額)	28,351	28,898
建物及び構築物(責任財産限定対象)	63,097	62,256
減価償却累計額	△6,361	△4,850
建物及び構築物(責任財産限定対象) (純額)	56,735	57,405
土地	1,230	1,230
土地(責任財産限定対象)	45,201	43,546
その他	13,247	12,409
減価償却累計額	△9,043	△7,941
その他(純額)	4,203	4,468
有形固定資産合計	135,722	135,548
無形固定資産	141	219
投資その他の資産		
その他	9,771	9,495
その他(責任財産限定対象)	407	1,116
投資その他の資産合計	10,178	10,612
固定資産合計	146,042	146,380
繰延資産	—	508
資産合計	176,427	176,384

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	122	111
短期借入金	14,166	5,700
1年内返済予定の長期借入金	1,300	950
1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	8,131	6,214
未払法人税等	2,042	3,271
その他	3,180	4,172
流動負債合計	28,943	20,419
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	1,925	375
長期借入金(責任財産限定)	71,586	83,279
役員退職慰労引当金	177	167
その他	353	450
固定負債合計	76,042	86,271
負債合計	104,986	106,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,324	15,324
資本剰余金	15,799	15,799
利益剰余金	41,159	39,415
自己株式	△310	△306
株主資本合計	71,973	70,232
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	△548	△548
評価・換算差額等合計	△548	△548
少数株主持分	16	9
純資産合計	71,441	69,694
負債純資産合計	176,427	176,384

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	38,738
売上原価	30,379
売上総利益	8,358
販売費及び一般管理費	889
営業利益	7,469
営業外収益	
受取利息及び配当金	39
協賛金収入	13
その他	47
営業外収益合計	100
営業外費用	
支払利息	1,716
その他	38
営業外費用合計	1,755
経常利益	5,814
特別利益	
投資有価証券売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
固定資産除却損	1,019
店舗閉鎖損失	133
開業費償却	508
特別損失合計	1,661
税金等調整前四半期純利益	4,158
法人税、住民税及び事業税	2,210
法人税等調整額	△434
法人税等合計	1,776
少数株主利益	6
四半期純利益	2,375

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		38,393 100.0
II 売上原価		28,139 73.3
売上総利益		10,253 26.7
III 販売費及び一般管理費		770 2.0
営業利益		9,483 24.7
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び配当金	40	
2. 広告協賛金収入	8	
3. 受取賃貸料	19	
4. その他	65	134 0.4
V 営業外費用		
1. 支払利息	1,071	
2. その他	66	1,138 3.0
経常利益		8,478 22.1
VI 特別損失		
1. 固定資産除却損	40	40 0.1
税金等調整前中間純利益		8,438 22.0
法人税、住民税及び事業税	3,563	
法人税等調整額	△49	3,513 9.2
少数株主利益		△3 △0.0
中間純利益		4,928 12.8